

祖小っ子の記録(1/19~23)

1/19(月)



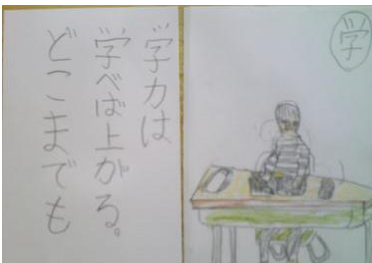
1月28日に行われる大縄大会に向けた練習が始まりました。初日のため、どこのクラスもタイミングよく入ったり、縄を回したりすることに苦戦している様子が見られました。

しかし、毎年、練習が始まるとどのクラスも日に日に記録を更新していきます。本番が今から楽しみです。



3年生が、来年度から始まるクラブ活動に向けて、いろいろなクラブを見学していました。新しいことが始まるのは、不安なこともありますが、楽しみです。

1/20(火)



3年生が、国語で音訓カルタをつくっていました。漢字の音読みと訓読みのそれぞれを使った言葉を集め短い文を作って、読み札にしています。みんなすごく上手につくっていて感心しました。授業の後半は、みんなで作ったカルタを使ってカルタ取りをしていました。漢字の復習が楽しめますね。



1年生が図工ですごろくを作っていました。「〇〇ができるようになったから3マスすすむ」「つかれたから1かいやすみ」など、子どもたちの生活経験から生まれたマスがたくさんありました。

教育相談週間が始まりました。困っていることや気にしてほしいことなど、一人一人が日頃感じていることを担任と話す機会になります。困ったときにSOSのサインを出す力、自分の弱いところや頑張っているところを認め見つける力、そんな力を身に付ける機会にもしたいと考えます。

1/21(水)



6年生が、理科でこの学習をしていました。支点からの距離とおもりの重さかけた数が同じであれば釣り合うということを規則性から見出していました。

5年生が国語で、様々な熟語の読み方を学習していました。使っている国語辞典には、数え切れないくらいの付箋が貼られていました。



大縄跳び大会に向け、毎日たんぼぼタイムに大縄跳びの練習をしています。昼休みの時間も、自主的に練習しているクラスがたくさんありました。記録だけでなく、力を合わせる気持ちが、日に日に増しているように感じます。

1/22(木)



たんぼぼ集会があり、運動委員会から大縄大会について、環境委員会からはお掃除すごろくについてのお知らせがありました。

全校みんなで、一つの目標に向かって協力して取り組むことは、それぞれの発達段階に応じた「できた」「やれるぞ」といった成功体験の積み重ねになると感じています。



4年生が社会で、愛知の伝統工芸について学習していました。伝統工芸品に触れる機会は少ないと思いますが、瀬戸焼きや七宝焼きなど、身近な生活の中で使われているものがあれば、探してみるのもいいですね。



2年生が体育で、ボールを使ったゲームをしていました。円の中にあるボールを守り手に捕まらないようにして所定の場所まで運んだら勝ち、というゲームです。いかに守り手たちの目を盗んでボールを運び出すか、頭と体を使うゲームです。

1/23(金)



大寒波が来ているということで、今朝は、通学路がうっすら雪化粧をしていました。歩きながらガードレールに積もった雪を落としている子、雪玉を作ってうれしそうに登校する子がたくさん見られました。



今年度最後の、読み聞かせボランティアさんによる絵本の読み聞かせがありました。

1年間、子どもたちが興味をもったり喜んだりしそうな本を選び、楽しく読んでくださった、富田さん、吉川さん、長崎さん、本当にありがとうございました。